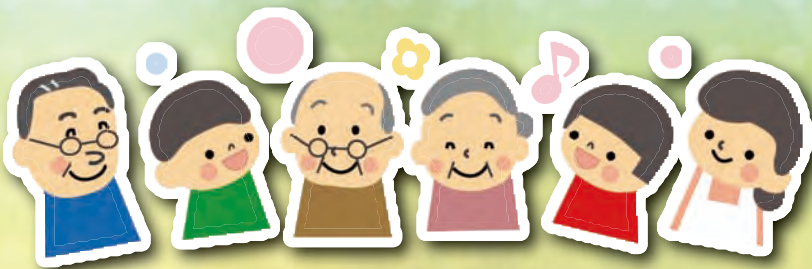


# 附屬資料



# 米子市総合計画審議会条例

平成17年7月25日条例第221号

## (設置)

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、本市における総合計画の策定について広く市民の意見を求めるため、米子市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

## (所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、本市の総合計画に関する事項を調査審議する。

## (組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験を有する者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

## (会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員の委嘱後初めての会議は、市長が招集する。
- 3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

## (委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

## 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 米子市総合計画審議会委員名簿

(委員は、五十音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
会 長 吹 野 卓	鳥根大学法文学部教授
副会長 長 島 明 子	女性人材バンク
委 員 浅 井 秀 子	鳥取大学大学院工学研究科准教授
〃 井 上 準 一	連合鳥取西部地域協議会事務局長
〃 岩 崎 るり子	米子市文化協議会
〃 上 田 京 子	公募委員
〃 江 田 美 保	女性人材バンク
〃 海 澤 純	公募委員
〃 狩 野 弘 幸	公募委員
〃 杵 築 俊 朗	米子市自治連合会常任委員
〃 後 藤 巖	米子市社会福祉協議会会長
〃 柴 野 清	皆生温泉旅館組合副組合長
〃 谷 本 晴 美	鳥取西部農業協同組合代表理事専務
〃 大 道 由 子	社団法人米子青年会議所副理事長
〃 千 原 達 郎	米子商工会議所専務理事
〃 増 井 幸 一	鳥取県西部中小企業青年中央会直前会長
〃 松 本 治 子	米子市小・中P T A連合会
〃 森 井 由美子	女性人材バンク
〃 山 崎 和 弥	公募委員
〃 山 本 逸 朗	公募委員

## 諮 問

米子市総合計画審議会

米子市民一人ひとりの生活の充実と地域社会の繁栄を図るため、まちづくりの総合的な指針となる総合計画の策定について、米子市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき諮問します。

平成22年9月7日

米子市長 野 坂 康 夫

# 答 申 書

平成23年5月25日

米子市長 野 坂 康 夫 様

米子市総合計画審議会

会長 吹 野 卓

平成22年9月7日付けで諮問を受けた「第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン2011）」（案）について、本審議会で慎重に審議を重ねた結果、その内容を妥当なもの認めましたので答申します。

なお、計画の推進に当たっては、審議の過程で出された意見・提言等を十分に尊重されることを要望します。



総合計画審議会答申のようす

# 策定の取組み

## 1 序内

- ・第2次米子市総合計画策定基本方針の制定 平成22年5月31日
- ・総合計画策定本部会議（本部長：市長）  
平成22年8月30日から平成23年4月18日までの間 13回開催

## 2 まちづくりに関する市民アンケート

- 調査対象 16歳以上の米子市民（平成6年1月1日以前に生まれた人）
- 調査方法 無作為に抽出した3,000人に対するアンケート調査票の郵送配付および回収
- 調査期間 平成22年1月～2月
- 回収数 1,099（回収率36.6%）

## 3 まちづくりワークショップ

- 開催回数 4回
- テーマ 10年後の米子市へ向けて ～市民と行政による協働のまちづくり～
- 第1回ワークショップ 平成22年7月8日 参加人数24人  
オリエンテーション
  - ・いきいきプランを見よう！聞いてみよう！
  - ・ワークショップの進めかた
- 第2回ワークショップ 平成22年7月16日 参加人数23人  
グループディスカッション
  - ・米子市の課題と優位性を整理しよう！
  - ・十年後の米子市（将来像）を想像してみよう！
- 第3回ワークショップ 平成22年8月5日 参加人数22人  
グループディスカッション
  - ・将来像を実現するためには？
- 第4回ワークショップ 平成22年8月20日 参加人数23人  
グループディスカッション
  - ・自分たちでできること（市民と行政の役割分担）

## 4 総合計画審議会

- 審議委員 20人
- 第1回審議会 平成22年9月7日
  - ・総合計画の策定について諮問
  - ・策定方針、前計画の数値目標進捗状況等について

第2回審議会 平成22年11月5日

- ・新米子市総合計画（米子いきいきプラン）の実績について
- ・基本構想体系（案）について

第3回審議会 平成22年11月29日

- ・基本構想体系（案）について
- ・基本構想（案）について

第4回審議会 平成23年1月24日

- ・基本構想（案）について
- ・基本計画（案）について

第5回審議会 平成23年2月1日

- ・基本計画（案）について

第6回審議会 平成23年2月7日

- ・基本構想（案）について
- ・基本計画（案）について

第7回審議会 平成23年2月15日

- ・基本計画（案）について

第8回審議会 平成23年2月22日

- ・基本計画（案）について

第9回審議会 平成23年3月18日

- ・第2次米子市総合計画（案）について

第10回審議会 平成23年5月18日

- ・第2次米子市総合計画（案）について

審議会答申 平成23年5月25日

## 5 米子市淀江地域審議会

総合計画の淀江地域に関する事項について、5回の審議会において審議及び報告

諮問 平成22年11月29日

答申 平成23年5月9日

## 6 パブリックコメント

第2次米子市総合計画（素案）に対するパブリックコメントを実施

実施期間 平成23年2月14日～3月15日

## 7 議会

平成22年11月19日から平成23年4月28日まで6回の全員協議会において説明

基本構想の議決 平成23年7月4日

# 01 実施概要

## 1. 実施趣旨

(1) ワークショップの目的

### 新たな米子市総合計画に向けた市民からのまちづくり提案

米子いきいきプラン（総合計画）の策定にあたり、幅広く市民参画の機会を確保し、今後のまちづくりについて意見を伺う。

米子いきいきプラン  
（総合計画）  
ワークショップ  
●実施報告書●

平成22年8月

(2) テーマ

### 10年後の米子市へ向けて ～市民と行政による協働のまちづくり～

- 10年後の米子市の姿を想像してみましょう
- どんな米子市になってほしいと思いますか？
- そのための市民と行政の役割は何でしょう？

総合計画におけるまちづくりの基本理念のひとつとして「市民との協働によるまちづくり」を掲げている。

これは、市民と行政がそれぞれ役割と責任を分担しつつ、パートナーとして共に手を携えてまちづくりを担っていくというものであるが、今後も承継すべき理念であると考えられる。

そこで、まちづくりの基本目標を基に10年後の米子市を想像し、どんなまちにしたいのか、それを実現するための市民と行政の役割分担は何か、市民にできることはどのようなことがあるかなどについて市民の視点で意見やアイデアを伺うと同時に、まちづくりにおける住民参加のひとつの手法であるワークショップとはどのようなことかについて学習した。

## 2. 実施日程

回	期日	時間	会場	参加人数
第1回	7月 8日			24
第2回	7月 16日	午後7時	米子市役所旧庁舎1階601会議室	23
第3回	8月 5日	～午後9時		22
第4回	8月 20日		米子市役所本庁舎4階401会議室	23

## 3. ワークショップの流れ

第1回ワークショップ  
STEP1 / オリエンテーション「いきいきプランを見てみよう！聞いてみよう！」  
STEP2 / オリエンテーション「ワークショップの進め方」

第2回ワークショップ  
STEP1 / 米子市の課題と優先性を整理しよう！  
STEP2 / 10年後の米子市（将来像）を想像してみよう！

第3回ワークショップ  
STEP1 / 将来像を実現するためには？

第4回ワークショップ  
STEP1 / 自分たちでできること（市民と行政の役割分担）

米子市



## 02 グループごとの検討成果

### 米子市の優位性と課題

#### ●米子市の優位性（良いところ）●

- ◎ **自然**  
山／海、山／星がきれい、空気が澄んでいる／大山の水がおいしい／食ハ物（魚・野菜・肉）
- ◎ **温泉**  
たくさんある
- ◎ **適度**  
都会と適度な距離感（遠すぎず、近すぎず）／適度な田舎
- ◎ **交通利便性**  
交通利便性（近くに空港、鉄道、道路あり）  
幹線道路が整備されている
- ◎ **コンパクト**  
街に活気がある（まちづくりに対する情熱がある）／市の規模以上に商業施設がある／駅から歩ける所に商店街がある／機能が凝縮（コンパクトシティに高機能）
- ◎ **安心・安全**  
犯罪が少ない／心穏やかに暮らせる／新しいモノを受け入れやすい／人情味がある／白雲の住民意識の融和・交流／他県から来てすぐに入居入れてくれる

#### ●米子市の課題（悪いところ）●

- △ **人口が少ない・まちの魅力**  
都会に出て行った人が帰ってこない／まちなかが寂しい／（特に中心市街地の人通りが）／都会に出て行く人が多い  
→雇用の場が少ない
- △ **行政**  
まちづくりのポイントが見えにくい／市の広報にツイッターが有効と思えない／県と市の壁、知事と市長の協定締結はいいが、現場が運動していないのでは、他機関との横のつながりができていない／市役所として情報化が遅れていないか？
- △ **公共施設整備**  
ペーパーカーや車いすにやさしい道路でない／踏切が開くのが遅い／市立図書館の蔵書が少ない
- △ **人の意識**  
変に都会化（昔ながらのコミュニティがない）／新旧住民意識に差がある（都会化）／伯国の意識差、対抗意識
- △ **生活マナー**  
タバコの吸い殻、ポイ捨て／路上につばを吐く人がいる／ペットの糞の後始末ができていない

### 米子市の将来像

なにもことにも適度なまぢ

## テキドシティ・米子

## A グループA

### 将来像を実現するために

#### 【環境・景観分野】

米子市の良いところ

- ◎豊かな自然 ◎住み心地・住みやすさ ◎安心・安全

#### 活用策

- **人口の安定化を図る・人づくり**  
あえて人口の流入（増加）を防ぐ／自標人口を10万人に設定する／人口を安定（増やさず、減らさず）／周辺市町から転入させる／人のつながりを強くする／近所同士の声の掛け合い／独居老人の見守り、声かけ
- **地産地消を推進する**  
エネルギーの地産地消／地産地消／やっぱり地元産は安心／NPOやJJAと連携した
- **環境美化・環境保全**  
まぢをきれいにする／環境意識の向上／川をきれいにする／環境保全（森を守ろう）／下水道の整備／まぢをきれいにする／環境美化運動の拡大（企業、コミュニティ等から輪を広げる、定期的な開催）／中海をきれいにする／掃除デイをつくる（月1程度）
- **豊富な自然のPR**  
海や山の観光資源を活用する／自然と自然の恵みのPR／中海や大山の美しさをPR／自然などを強くアピール
- **低炭素社会の実現**  
排気ガスを減らす／自転車や電気自動車の活用／歩いて生活／法勝寺町商店街のような歩行者優先の道路整備／変に都市化せず、自然を活かす
- **その他**  
中心エリアの住環境整備→空き家の解消／調和の取れた都市計画／合併等を変に推進しない・今のままでもいい／警察のハートルール拡大

#### 【市民・市民活動分野】

米子市の悪いところ

- ▲マナー ▲人付き合いが淡泊 ▲自分勝手 ▲コミュニティの弱体化

#### 改善策

- **まぢなかのゴミ対策**  
ゴミのポイ捨てに罰金／まぢにゴミ箱を置かない／まぢにゴミ箱や灰皿を大量に置く／禁煙教育／ポイ捨て禁止条例
- **人とのつながりを強く**  
人間に感心を持つ／各市区で人が交流できるような賑わいづくり！／町内全員が顔見知りになる
- **お互いに助け合う、互助の精神**  
困った時はお互い様／互いに注意しあえる人間関係を築く／大運動会の開催／ボランティア参加を積極的に！／NPO等の活用
- **教育が大切**  
ハッチリ教えてやろう！マナーを／大人を子供に巻き込む／幼児期からのマナー・子育て支援施策の拡大／人権尊重のまちづくりを進める／性格を直す努力をしよう・・・あかさつ運動
- **愛郷心を育む教育**  
やっぱりこれを大事なこと／米子愛を高める教育／こんないい所はない！と小さい頃からたたき込む
- **行政の活用**  
広報等の活用／コミュニティと行政の意思疎通を図る／市民が誇りを持つ行政／ヨネギーズを活かしたまちづくり／自治会に大量の税金を投入／地域の拠点（公民館）とかが手厚くする／警察官にもっと仕事をせよ／小コミュニティから見直す
- **その他**  
主婦：地域のおばちゃんの日替わりオーナーカーカフェ

米子市の将来像

米子市の優位性と課題

●米子市の優位性（良いところ）●

- ◎自然とのバランス  
空が広い（低い・近い・建物がない）／都会のようでもあり自然も多い／自然が近い／自然（海・山・川・湖）が多い／国立公園の恵みを受けている／周辺に観光地が多い／街路樹（イチヨウ）がきれい
- ◎安心・安全  
病院が多い／自然災害が少ない／住みやすい・生活しやすい
- ◎歴史と文化が薫る  
歴史と文化のまち
- ◎水と食べ物がうまい  
水道水が飲める・水がおいしい／食べ物おいしい（種数回答）／水と魚がおいしい／空気がおいしい／空気がきれい
- ◎人がやさしい・元気  
協力し合える／人とのつながりがすぐできる／人柄がよい／人がやさしい／面白そうなことを「やろーや」と実行するところ／元気な高齢者が多い／市民活動（ボランティア）の実践者が多い
- ◎公共施設の充実  
だんだんバスは安い／公民館等施設が充実している／ダラスクリエートボックス？／道路整備が進んでいる
- ◎まつり・元気  
がない祭／トライアスロン発祥の地

●米子市の課題（悪いところ）●

- △人柄？  
よそ者扱い／しがらみが多い／すぐに飽きる／多数決が多い／少し派手な感じで歩くと変に見られる／女性の活動が認められない／地域によって住民活動に温度差が見られる
- △まちに元気がない  
ジャスコに負け気味／思いつく観光地がない／まちに活気がない／楽しくない・モントーン／何も目玉がない／店のある所とない所の差がある
- △若い人の将来、選択肢  
職種が少ない（専門的な事を学んでも活かせない）／高校が少ない、選択できない（格差が大）
- △自然へ対する不安、不満  
中海が汚い／鮎がつかからない
- △公共施設の不備  
遊び場が少ない／マンションが多すぎず／歩道にすがほしい／公的機関がばらばらで不便／道が悪い／松江方面から来ると四日市パーキングを曲がりそこねる一案内標識がわかりにくい
- △市の財政  
市の財政が良くない
- △その他  
全国的な有名人が少ない

老若男女が元気なまち  
自慢できるまち  
食べ物おいしいまち  
子育て環境が整ったまち  
自然豊かで調和のとれたまち

ひとづくり・まちづくり

将来像を実現するために

【環境・景観分野】

米子市の良いところ  
□大山の恵みを受けている □水や食べ物、空気がおいしい □自然が近い □災害が少ない

活用策

- イベントなどの開発  
おいしい食べ物を活かしたイベント／自然を活かしたイベントなど、中心となる場所を作る
- 特産品・名物の開発  
特産・名物の開発／農産物を加工してお土産を作る
- 大山の自然を生かしたツアーの開発と指導者の人材育成  
野外活動に精通した人材を掘り起こし、大規模なアドベンチャーワールドのような物ができれば・・・滞在型エコツーリズムの推進と指導者養成／皆生トライアスロンの継続（市民活動）／大山の自然などを活かして観光ツアーを作る・集客できるような最大限利用する

（市民と連携した）情報発信

情報発信の工夫・行政とNPOとの連携／食のみやこ米子を目指す

【産業・経済分野】

米子市の悪いところ  
▲まちに活気がない ▲職種が少ない ▲米子と言ったら「コレ」というものがない

改善策

- 循環を生み出す仕組みづくり  
（キーワードは、年代を超えて生きがい・やりがいを米子で！）  
空店舗活用→観光客も来る→土産→第6次産業→人・仕事
- 高齢者が暮らしやすいまちづくり  
商店街を高齢者のまちにする／駐車場の不足（中心市街地）／高齢者が歩きやすい道  
路や交通を整備／空店舗を減らし、なくす→職を増やす／高齢者グループに outlet しても  
らう／週末の高校生ショップを開く
- 米子と言えばコレ！を創り、PRする  
米子のよいところを出し合い、一番多い物をアピールする／等身大のエバンゲリオンを  
米子駅前に出現させる／米子を代表するような新しいものを作る
- 今の産業を活かし新しい産業を作る  
職を増やすよう手助けをすればよい（場所の提供等）／「こんな事、学んでます」とい  
った学生のアピールシンポジウムの開催

米子市の将来像

米子市の優位性と課題

● **米子市の優位性（良いところ）**

- ◎ **店が充実**  
大きな店がたくさんある／買物スポットが結構ある／大型ショッピング施設が多い
- ◎ **水・自然環境**  
水がおいしい（複数意見）／海も山もあるところ／海も山も近い／自然が近い／自然がたくさん／自然が豊か／海も山も近い都市／自然がたくさん水鳥公園
- ◎ **魚介類がおいしい**  
海産物がおいしい／魚貝類が新鮮でおいしい／回転寿司屋が多くておいしい／魚かうまい／魚が新鮮／寿司屋さんが多い
- ◎ **コンパクトなまち**  
自転車で行ける／30分以内で望む所へ行ける／狭いので市内巡りが容易／ほどなく田舎・ほどなく便利で住みやすい
- ◎ **病院が多い**  
医療機関が多い／病院が多い
- ◎ **交通機関・交通の要衝**  
交通の便、鉄道・道路・空港・空港・山陰の交通の要衝
- ◎ **人柄**  
ざっくばらんな性格／新しい物好き
- ◎ **その他**  
災害が少ない／人が多すぎない／バリアフリーが進んでいる

● **米子市の課題（悪いところ）**

- △ **働く場が少ない**  
働く場が少ない（複数意見）／若者の就職口がない
- △ **まちなかの移動手段が不便**  
バスや鉄道、歩道、自転車道がイマイチ／車がないと移動できない／郊外の交通手段が不便／橋が少ない／車がないと移動できない
- △ **荒れた農地**  
農地が荒れている／リヶ浜に荒れた農地が多い／農地があふれている
- △ **文化資源、観光資源が少ない**  
文化がイマイチ／文化的資源が少ない／文化が遠い（展覧会や規制）
- △ **観光拠点が無い**  
観光拠点となる場所がない／米子の土産がない
- △ **特色がない**  
特色がうつまい／人口が少ないので集客にくい
- △ **米子人の性格**  
自前のコトに飛びつく／団結心が薄い／引ひきつ込み思案な人が多い／のりが悪い／人任せになりがち
- △ **道路状況**  
防災車が入れない、防災・避難、誰か指示するか
- △ **緑が少ない**  
自然森林が少ない／町中に緑がない

自然を活かし、...  
賑わいがあり、...  
人にやさしい、...  
利点を活かした観光...  
周辺地域との連携

**中海・宍道湖（出雲）・大山  
圏域のへそ**  
(情報・交通・観光他)

将来像を実現するために

【**環境・景観分野**】  
米子市の良いところ  
1. 水 2. 自然 3. 自然の恵み（魚介類など）

→ **活用策**

- **水の提供**  
全国販売されている水を無料でくめる／水を無料でくめる場所をもっとPR／無料の飲める温泉水
- **PR**  
住みよさ・住みよさ、災害の少なさをPR／おいしい水で住みよさをPR  
観光→おいしくて安全な食を観光PR
- **中海の浄化**  
中海の浄化／下水道の推進／中海をきれいにする／中海を浄化して昔の魚介類を取り返す
- **自然の恵み（魚介類）を活かした特産品**  
地取れの魚介類を提供する／魚介類を使った特産品の開発
- **自然の保全・再生**  
荒山を雑木林に戻す／日野川流域を緑豊かな森林とする／真水・緑を確保すると海が生きる／大山のブナ林を守る
- **圏域の連携（改善策と重複）**  
大山～日本海～中海の観光・余暇／大山・中海・海を使った観光／周辺のルート作り／米子市周辺は多いが中心に少ない・連携が重要

【**教育・文化・交流分野**】  
米子市の悪いところ  
1. 文化資源が少ない 2. 観光拠点が少ない 3. 教育機会が少ない

→ **改善策**

- **圏域の連携（活用策と重複）**  
大山～日本海～中海の観光・余暇／大山・中海・海を使った観光／周辺のルート作り／米子市周辺は多いが中心に少ない・連携が重要
- **文化施設の充実**  
図書館がほしい／自然の美しさ+文化を楽しめる施設／美術館の充実／美術館をもっと大きく／音楽専用ホールを作る／総合大学／学校の教育に力を入れる／公園がたくさんほしい／室内プールがほしい
- **自然体験・観光施設**  
農業体験／観光農園／農業学校（地元農家との交流）／ネイチャープログラム・インストラクター育成／自然体験施設
- **文化・芸術分野の指導者の誘致**  
一流芸術の誘致／指導者を招く（芸術分野）
- **米子らしさのアピール**  
トラライアスロン、空港・和牛・米子の顔／一点集中で専門色の強い物事
- **皆生温泉の活用**  
皆生温泉の飲食（食べたり飲んだり座ったりできる）／皆生温泉の活用（観光拠点）音楽祭をする
- **イベントの開催**
- **人と人とのふれあい機会の増加**  
観光客と地元の方であえる場づくり／地域での教育の場が少ない

03 自分たちでできること

グループ テーマ 自分たちでできること

その他

<p><b>グループ</b></p>	<p><b>PR</b></p> <p><b>住みよさ</b></p>	<p><b>情報発信</b></p> <p>■プログで地域情報発信 ■いろいろなツイッターでつぶやいて ■海外TVに出演 ■米子市の宣伝をPR ■反響を呼び戻すPR</p>	<p><b>情報発信</b></p> <p>■米子の良いところを自分で発信 ■良いところを説明できるようにする</p>	<p><b>観光大使</b></p> <p>■米子市が市民を観光大使に任命する ■観光大使は、観光客に米子市の魅力を伝える ■観光大使は、観光客に米子市の魅力を伝える</p>	<p><b>住みよさの向上</b></p> <p>■まちをきれいにする ■社会のルールを守る ■木や花を植える</p>	<p><b>PR</b></p> <p><b>住みよさ</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>女性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>
<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>環境美化</b></p> <p><b>環境保全</b></p>	<p><b>男性グループ</b></p>

## 04 まとめ

### 1. 第1回／オリエンテーション

米子いきいきプラン（総合計画）の趣旨や米子市の現状等について説明した後、米子市の現状に対する質疑応答の他、ワークショップに関する勉強会、旗揚げアンケートといった手法を用いたワークショップへの導入を図った。

質疑の内容は、米子市の財政に対する質問が最も多く（6/18）みられ、その他、米子駅前活性化計画や米子港再開発の計画内容や風との役割分担、定住対策、農業対策、防災施策等、多岐にわたる質問があった。

### 2. 第2回／10年後の米子市の姿（将来像）は？

STEP1「米子市の課題と優位性を整理しよう」では、参加者が感じる現在の米子市の課題や問題点並びに米子市の良いところ、好きなところについて自由に発言し、意見交換を行った。

「米子市の良いところ（優位性）」では、「海や山が近いところにある」「自然（海・山・川・湖）が多い」「空気が澄んでいる」など豊富な自然に関すること、「自然災害が少ない」「犯罪が少ない」「病院が多い」など安心・安全に関すること、「水がおいしい」「海産物が新鮮でおいしい」など水や食べ物に関すること、「人情味がある」「人とのつながりがすぐできる」など気質・人柄に関すること、「都市機能が凝縮している」「30分以内で望むところへ行ける」などまちがコンパクトである点などがあげられた。

一方、「米子市の悪いところ（問題点）」では、「すぐに飽きる」「引込み悪業の人が多い」「人任せにしがち」「タバコの吸い殻のポイ捨てなどマナーが悪い」など気質・人柄に関すること、「道路が傷んでいる」「遊び場が少ない」「図書館の蔵書が少ない」など文化・観光に関すること、「文化的資源が少ない」「観光拠点となる場所がない」など文化・観光に関すること、「人口が少なく集客力がない」「まちなかが寂しい」「目玉がない」など人口やまちの魅力に関すること、「市の財政状況が悪い」「まちづくりのポイントが見えにくい」など行政に関することなどがあげられた。

その他、それぞれが普段の生活の中で感じている良さや悪さについて、いろいろな視点での意見が出た。

STEP2「10年後の米子市の姿（将来像）を想像してみよう！」では、STEP1で出された意見をまとめながら、「良いところ」は活かして、「悪いところ」は改善していき、そのうえで、どのような米子市であってほしいかを検討した。

その結果、①「テキドシティ・米子」、②「ひとづくり・まちづくり」、③「中海・宍道湖（出雲）・大山圏域のへそ（情報・交通・観光地）」といった3つの将来像が導き出された。

### 3. 第3回／将来像の実現に向けて！

「将来像を実現するためには？」として、第2回目のワークショップで抽出した長所・短所を総合計画の政策分野に合わせて分類し、グループごとに意見の多かった分野を抽出して将来像の実現に向けて何をどうすればよいか、何がどうなればよいかについて意見交換を行った。

#### Aグループ

分野	◎	▲	計
①健康・医療・福祉	1	0	1
②教育・文化・交流	3	2	5
③産業・経済	4	4	8

分野	◎	▲	計
①健康・医療・福祉	1	0	1
②教育・文化・交流	2	1	3
③産業・経済	6	8	14

分野	◎	▲	計
①健康・医療・福祉	3	0	3
②教育・文化・交流	1	10	11
③産業・経済	5	10	15

凡例：◎良いところ ▲悪いところ

分野	◎	▲	計
④環境（住・自然）・景観	10	4	14
⑤生活基盤	5	3	8
⑥行政	0	5	5

分野	◎	▲	計
④環境（住・自然）・景観	16	5	21
⑤生活基盤	2	4	6
⑥行政	0	1	1

分野	◎	▲	計
④環境（住・自然）・景観	22	5	27
⑤生活基盤	8	8	16
⑥行政	0	1	1

分野	◎	▲	計
⑦市民・市民活動	6	8	14
その他( )	0	1	1

分野	◎	▲	計
⑦市民・市民活動	9	7	16
その他( )	0	1	1

分野	◎	▲	計
⑦市民・市民活動	2	6	8
その他( )	1	0	1

意見の多かった分野は、「米子市の良いところ（優位性）」では3グループとも「④環境（住・自然）・景観」分野であり、市民のこの分野への関心の高さが伺える。

「④環境（住・自然）・景観」への具体的な施策の提案では、「大山や水を柱とする豊富な自然や安全なまち」といった米子市の優位性を活かし、「豊富な自然のPPR」・「イベント・特産品・名物の開発」・「自然の恵みを活かした特産品開発」等々、米子市の優位性であり大きな特徴となる自然を活かした商品開発と米子市の優位性のPRを行うことが、各グループ共通の提案としてまとめられ、更に、豊富な自然の保全、環境美化、自然を活かしたツアー開発、市民と連携した情報発信、米子市のみならず圏域一体となった魅力の向上などがあげられる。

一方、「米子市の悪いところ（問題点）」では、「市民・市民活動」、「産業・経済」、「教育・文化・交流」、「産業・経済」に分かれた。

「市民・市民活動」分野では、人とのつながりを強くし、お互いに助けあう互助の精神の向上やまちなかのゴミ対策の必要性の他、小さい頃から愛郷心を育む教育が必要であることが提案された。

「産業・経済」分野では、10年後、高齢者が暮らしやすいまちづくりや米子を代表するモノづくりとそのPR、現在の産業を活かした新しい産業の開発や循環を生み出す仕組みづくりなどが提案された。

「教育・文化・交流」分野では、米子の恵まれ自然背景を活かした体験機会やイベントの開発、人と人とのふれあう機会の増加、文化施設の充実や指導者の育成、誘致の他、圏域の連携や自然の保全・再生、資源の活用などが提案された。

### 4. 第4回／自分たちでできること（市民と行政の役割分担）

米子市総合計画のまちづくり基本理念のひとつとして「市民との協働によるまちづくり」を掲げており、これは、市民と行政がそれぞれ役割と責任を分担しつつ、パートナーとして共に手を携えてまちづくりを担っていくというものである。

このステップでは、ワークショップの締めくくりとして、それまで検討してきた項目（主に総合計画に反映する施策（主に行政がすること））について、誰がやるのか、どうやれば理想の米子市像に近づくのか、市民ができることはないか、市民と行政の役割分担、責任分担などについて、参加者自らが考え、「自分たちでもできることがたくさんある。」「自分たちも積極的にまちづくりに参加しよう。」「匂付いてもらうことを目的として行い、検封シートの内容（行政任せではなく、市民が自分達にもできることがたくさんあることに匂付き、ポストイットに書き出された。）や参考資料の「ワークショップ参加の感想・意見」からしっかりと読み取ることができている。

### 5. ワークショップ運営後記

## 延べ100人の知恵とエネルギー 米子のまちを語る場がここにありました

今回のワークショップは、総合計画に関する「優位性・課題」「将来像」「施策」「市民ができること」を住民の視点から提案するとともに、自ら応募した参加者に対し、総合計画の意味や位置づけの他、住民参加の意味や参加の手法を理解してもらうことも加味したプログラムとして提案した。

参加者の中には、自分の得意な分野について、もっと突っ込んだ内容で議論したかった・・・といった声も聞かれたが、最後のワークショップでは、各論ではなく、自分の興味のなかつた分野に対する意見交換や総論で話せたことがよかつたとの声も聞かれた。

普段から米子に住み、米子で生活しても、米子のまち（づくり）について、他人と語り、意見を言い合う機会はほとんどない。

今回のこの米子いきいきプランワークショップでは、約30人の市民が4回、老若男女、年齢、性別、職業を超えた延べ120名の市民の知恵とアイデアがここに終結し、米子のまちづくりや将来像を語る場がここにあったと言える。

05 参考資料

1. ワークショップ通信の発行

米いきいきプランWS/第1回  
●ワークショップ通信●

米いきいきプラン（米子市総合計画）とは、米子市の将来を長期的な視点に立って見直し、行政運営を総合的に計画するために策定するものです。  
また、米子市の各分野におけるまちづくりの計画の中で最も上位に位置づけられる計画であり、まちづくりの総合的な指針を示すものです。  
今回のワークショップは、米子いきいきプラン（米子市総合計画）を策定するにあたり、広く市民の皆さんの意向を把握しようとするものです。

第1回ワークショップは、7月8日（水）に、約30人が集まって開催し、米子いきいきプランの趣旨や米子市役所等について説明した後、米子市の担当に対する質疑応答の他、ワークショップに関する勉強会、旗揚げアンケートといった手法を用いたワークショップへの導入をはかりました。

ワークショップは、7～8月の2ヶ月間に4回の開催を予定しています。「ワークショップ通信」でまた、ワークショップに参加できなかった方へも、内容が理解できるように、ワークショップ通信をお知らせします。

■ワークショップのテーマ

10年後の米子市へ向けて～市民と行政による協働のまちづくり～

■第1回ワークショッププログラム

- ワークショップの趣旨説明
- 米子市の現状と課題
- 米子市の未来
- ワークショップの目的
- STEP1/いきいきプランを改めてみよう！聞いてみよう
- 意見交換
- 意見発表
- STEP2/ワークショップの進め方
- 自己紹介
- 今後の予定
- 質疑応答

■今後の予定

- 第2回ワークショップ/10年後の米子市の姿（将来像）は？
- 第3回ワークショップ/将来像の実現に向けてその1
- 第4回ワークショップ/将来像の実現に向けてその2

■ところで、ワークショップって？

ワークショップとは、地域のさまざまな立場の人々が、自由で平等な立場で参加し、各個人の経験や意思決定を行う手法です。意見交換によるアイデア提案や計画づくりなどを進め、参加者の意思形成や意思決定を行う手法です。



STEP1  
米子市の現状  
ワークショップとは？

STEP2  
ワークショップとは？

STEP3  
将来像を議論する  
ためのは？

STEP4  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

STEP5  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

●意見交換のまとめ●

グループ	米子市の良いところ	米子市の悪いところ	米子市の将来像	
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境</li> <li>歴史</li> <li>交通利便性</li> <li>コソバワト</li> <li>安心・安全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が少くない</li> <li>大まかの魅力</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>なにごとも通ぶが、心・</p> <p>テキドシティ・米子</p>
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p>
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p>



STEP1  
米子市の現状  
ワークショップとは？

STEP2  
ワークショップとは？

STEP3  
将来像を議論する  
ためのは？

STEP4  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

STEP5  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

●交換のまとめ●

グループ	米子市の良いところ	米子市の悪いところ	米子市の将来像	
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境</li> <li>歴史</li> <li>交通利便性</li> <li>コソバワト</li> <li>安心・安全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が少くない</li> <li>大まかの魅力</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> <li>大規模なまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>なにごとも通ぶが、心・</p> <p>テキドシティ・米子</p>
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p>
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然とのバランス</li> <li>安心・安全</li> <li>歴史・文化が薫る</li> <li>景観が美しい</li> <li>人がやさしい、元気</li> <li>公共施設の充実</li> <li>まちづくり、元気</li> </ul>	<p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p> <p>自然環境が充実している</p>

STEP1  
米子市の現状  
ワークショップとは？

STEP2  
ワークショップとは？

STEP3  
将来像を議論する  
ためのは？

STEP4  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

STEP5  
米子市の現状と課題  
ワークショップとは？

## 2. ワークショップの様子



3. ワークショップについて

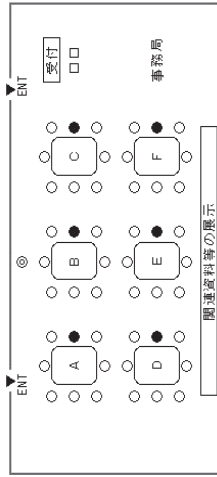
●ワークショップとは、住民参加の手法のひとつです●

住民参加の手法には、アンケート調査やシンポジウム、フォーラム、説明会、インターネットの利用等さまざまな方法、手法があります。

そのなかで、現在、数多くの市町村で実践されているのがワークショップです。

ワークショップとは、地域のさまざまな立場の人々が、自由で平等な立場で参加し、各種の共同作業を通じて、意見交換によるアイデア提案や計画づくりなどを進め、参加者の合意形成や意思決定を行う手法です。

◆ワークショップ配置イメージ（参加者30～42人程度の場合）



凡 例

○参加者

●テーパーリーダー（グループリーダー）：中立な立場でグループ内の意見交換を進行します

◎ファシリテーター：ワークショップ全体を進行します

※1テーパーの人数は、6～8人が最適と言われています。それ以上になると、限られた時間のなかで、スムーズな意見交換が難しくなります。

●ワークショップのメリット●

①合意形成・協議の質の向上

②多くの人の意見やアイデアが反映できる

③住民・行政両者の意欲が高まる

①合意形成・協議の質の向上

- ◆参加した全員が意見やアイデアを出すことができる。
- ◆形式ばっていない。
- ◆参加者の上下関係を取り除き、年齢を問わず、お互いが平等な立場で話し合いができる。
- ◆一部の声の大きい人が会議を支配することがない。
- ◆集団のなかの相互作用の力を引き出す創造的な成果が期待できる。
- ◆自分の意見を主張する一方で、多様な意見を知ることができる。

②多くの人の意見やアイデアが反映できる

- ◆行政に対して発言する機会のなかった人に発言の機会ができる。
- ◆子供からお年寄りまで、年齢を問わず参加できる。
- ◆幅広く一般住民の意見やアイデアを聞くことができる。

③住民・行政両者の意欲が高まる

- ◆計画されたものが、参加者にとって身近なものとして受け入れられやすい。
- ◆参加者の（公共施設）計画や事業に対する意識や意欲が高まると同時に責任感が生まれやすい。
- ◆責任ある発言が意識され、安易な行政依存がなくなりやすい。
- ◆行政が、苦情処理の場から、住民のさまざまな情報収集の場になりやすい。
- ◆行政職員の地域に関わる意識が向上する。
- ◆行政と住民の対立の構図でなく協働の構図が生まれやすい。
- ◆行政と住民の信頼感が深まりやすい。

●ワークショップの主な手法●

【 K J 法 】

与えられたテーマに沿って、自分の思いつくままに意見やアイデアをポストイットに記入し、同じ意味や種類のモノ等、関連の強いモノ同士をグルーピングして、その関係を考えるワークショップです。  
意見や感想のとりまとめ等、参加者の自由な発想を引き出す手法で、各種のワークショップで使われる基本的な手法といえます。

ポストイットを使うことによって、ふだんから声の大きい人や自己主張の強い人、もの勝ちな人や女性など様々な人が、同じ立場で水平な関係を保ちながら意見交換することを目的とします。はつきりとしないうちでもややもとした考えやアイデアをよりはっきりとした形で整理・把握したり、みんなでの意見や考えを出し合っ、グループのアイデアを1つにまとめることができま

方法と留意点

□始めに、考えるテーマについて思いついた事を1つずつ1枚のポストイットに書き出します。

□たくさん思いついた事がある場合、その数だけポストイットに書き出します。

□次に、書かれたポストイットを分類します。参加者全員が、順番に自分のポストイットに書かれた内容を読み上げながら地図や模造紙に貼っていきます。その時に、他の参加者の読み上げた内容と自分の書いた内容が同じような内容の場合、自分も同じような内容がある旨を伝えて、先に貼った人の近くに自分の書いたポストイットを貼っていき、その内容ごとにグルーピングしながら全員のポストイットがなくなるまで続けます。

□おおまかにグルーピングされたら、そのグループ全体を表わす「見出し」を付け、そのグルーピングの意味を代表させます。

□それぞれのグルーピング（見出し）を見渡しながら、グルーピング同士の関係やつながりの有無を考えながら、関係線を引きたいコメントやイラストを付けたりして表現を工夫しながら再整理します。



#### 4. ワークショップ参加者の感想、意見

##### ワークショップに参加して良かったこと！

- ◎いろいろな視点から米子のまちを見る事ができた。
- ◎高校生の意見が新鮮だった。
- ◎幅広い年齢層が集まった。
- ◎学校外の人と話ができ楽しかったです。
- ◎みなさんの意見が聞けてよかった。
- ◎年代の違ういろいろな人達と交流することができた。
- ◎自分の意見と他の人の意見が合わさったりして面白かった。
- ◎知らない人達と同じグループで議論を重ねていくことによって、人とつながっていくことの大切さを何となく感じた。
- ◎多様な考えに接することができた。
- ◎皆が参加し意見交換できたことがよかった。
- ◎学生さんと同じような形でコロナ禍することはあまりないので良い経験でした。
- ◎現役の学生さんとワークショップを共にできたのは新鮮で驚きだった。
- ◎他人の意見を聞いて気付かされることが多かった。
- ◎年齢を問わず、色々な分野の人達が参加していた。
- ◎他人、特に性別、年代が異なる人の意見を聞けた事で、自分の考えの参考となった。
- ◎他の人の意見を知る事ができて良かった。
- ◎市民が話し合える機会であった。
- ◎ワークショップ、楽しい！
- ◎年齢や性別を超えて、たくさんの方の意見を聞かせていただき良かった。
- ◎日頃思っているまちづくりについて意見が言えた。
- ◎テラリングに助けてもらってスムーズに進んだ。
- ◎進行がとても素晴らしく、有意義な会でした。ありがとうございました。
- ◎KJ法→発表という手法は、グループディスカッションより良かったと思う。(方法論として)
- ◎出席者が米子市を愛していることが嬉しひしと伝わった。
- ◎10年後の米子像を考える時間でした。高齢者が元気で、地域活動に加わる。
- ◎10年後を考えることの大切さを感じた。
- ◎子どもや孫に美しい街を残したいと思った。
- ◎ひとり1人の意識や努力をもっと誇れる米子にしていきたい。
- ◎高校生の1人が、子ども会リーダー研修会で指導した児童で、あえてうれしかった。
- ◎松原さん、声をかけて下さりありがとうございました。
- ◎みんなでやればいまいちでできそうな気がしてきました。
- ◎自分の住む「まち」を再発見できた。
- ◎町(街)づくりは、身近なところから、自分でできることの多さにびっくりし気付かされた。
- ◎自分の意見が市のために反映されるのがよかった。
- ◎10年後、厳しい世の中になっていくであろうが、案外、自分達でできることもあるんじゃないかと振り返ることができた。
- ◎今までより、個人で出来る事を考えるようになった。
- ◎市政と市民の関わり合いについて、自ら行動できることの多さに気付かされた。
- ◎行政が一方的に作る計画ではなく、市民目線、まちづくり目線でできそう。
- ◎米子市を主観的に見ると同時に客観的に見る機会として良かった。

##### ワークショップに参加して良くなかったこと！ よくわからなかったこと！

- △時間が少なかった。
- △議論を深める時間なし。
- △KJ法による意見交換の時間も少し長し良かった。
- △時間が短いので、皆が早口になった。
- △回数がもう少し多くてもよかった。
- △1回あたりの作業時間ももう少し長くてもよかった。
- △一回一回をもっと深く掘り下げたかった。(時間の制約)
- △ひとつのテーマを掘り下げて、もう少し細かな意見交換をしてみたかった。
- △話し合いがどう、総合計画に反映されるか？
- △せっかく話合ったので、市に1つでも多く実行してほしい。
- △話し合いだけではなく、実行までできるともっといいかな。
- △実行にまでもっていただけたいいな。
- △ワークショップがどのように総合計画に反映されるかがよくわからない。
- △ワークショップがどのように反映されるか知りたい。
- △総合計画にどう反映させるの？ちょっと見えにくい。
- △総合計画に“市民ができること”は入るのかな？
- △たくさんあった意見を全部ついで議論できていない。
- △ワークショップの手法がもしもれないが、4回の流れを事前に知っていたかった。
- △せっかく出てきた意見をもっとうまくまとめられたのでは？
- △ワークショップが周知されていなくて残念。
- △分野毎、2つしか話しかなかった。
- △自分の思っていた分野の話し合いができなかった。
- △テーマが大きいというか、なかなかにピンとこない部分もあった。
- △米子市の10年後を考える場合、米子単市での構想はありえない。
- △「これからの10年」のキーワードとワークショップの総意がまだ、腑に落ちない。

# 米子市総合計画策定要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、米子市総合計画（以下「総合計画」という。）の策定に関し必要な事項を定めるものとする。

(総合計画)

第2条 総合計画は、基本構想及び基本計画とする。

2 基本構想は、市政推進の長期的展望に立ちながら、当面の目標を平成32年度とし、市の将来目標及び目標達成のための基本的施策を定めるものとする。

3 基本計画は、基本構想において設定された目標を達成するため、平成27年度までの各行政部門の施策を体系化し、中期財政状況との調整を図りながら、施策の総量及び根幹的事業の内容を定めるものとする。

(総合計画策定本部)

第3条 総合計画の策定に関し、基本構想及び基本計画の素案を審議するため米子市総合計画策定本部（以下「本部」という。）を設置する。

2 本部は、別表第1に掲げる職にある者をもって組織する。

3 本部長は、市長をもって充て、副本部長は、副市長をもって充てる。

4 本部長は、会務を総理し、本部を代表する。

5 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。

6 本部の会議は、本部長が招集し、本部長が議長となる。

(幹事)

第4条 基本構想及び基本計画の素案の作成に関し、各部局（部及び政策局、淀江支所、教育委員会事務局並びに水道局をいう。以下同じ。）の長を補佐し、その部局内における連絡調整等を行うため、本部に幹事を置く。

2 幹事は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 幹事の会議は、企画部長が招集し、企画部長が議長となる。

4 企画部長は、本部の会議に出席し、前項の規定による会議の結果を報告しなければならない。

(策定担当者)

第5条 基本構想及び基本計画の素案の作成に関し、各部局の課（課に相当するものを含む。）に係る事項を立案するため、本部に策定担当者を置く。

2 策定担当者は、別表第3に掲げる職にある者をもって充てる。

3 策定担当者は、第1項に規定する事項を立案したときは、当該立案した内容を、その属する部局の長及び企画部長（企画部にあつては、企画部長。次条第3項において同じ。）に報告しなければならない。

4 部局の長又は企画部長は、前項の規定による報告を受けたときは、必要に応じ、当該報告をした策定担当者に対し、当該報告を受けた事項について指示をするものとする。

(策定担当者会議)

第6条 各部局における策定担当者会議は、当該部局に属する幹事が招集し、当該幹事が議長となる。

2 幹事は、前項の規定による会議を開催したときは、その結果を、その属する部局の長及び企画部長に報告するものとする。

3 第1項の規定によるもののほか、企画部長は、必要に応じ、策定担当者会議を招集することができる。

(庶務)

第7条 総合計画の策定に関する庶務は、企画部企画課において行う。

(規定外事項)

第8条 この要綱に定めるもののほか、総合計画の策定に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、平成17年9月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年6月17日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

市長 副市長 教育委員会教育長 水道事業管理者 総務部長 企画部長 市民生活部長 人権政策局長  
環境政策局長 福祉保健部長 経済部長 建設部長 下水道部長 淀江支所長 教育委員会事務局長

別表第2 (第4条関係)

総務部総務管財課長 企画部企画課長 市民生活部収税課長 人権政策局人権政策課長  
環境政策局環境政策課長 福祉保健部長寿社会課長 経済部経済戦略課長 建設部建設企画課長  
下水道部業務課長 淀江支所地域振興課長 教育委員会事務局教育総務課長 水道局計画課長

別表第3 (第5条関係)

部	策定担当者
総務部	秘書広報課、総務管財課、防災安全課、行政経営課、職員課、財政課及び入札契約課の長
企画部	企画課、地域政策課、情報政策課及び市民自治推進課の長
市民生活部	市民相談課、市民課、市民税課、固定資産税課、収税課及び保険年金課の長
人権政策局	人権政策課及び男女共同参画推進課の長
環境政策局	環境政策課及び環境事業課の長
福祉保健部	福祉課、障がい者支援課、長寿社会課、こども未来課及び健康対策課の長
経済部	経済戦略課、商工課、観光課、農林課及び水産振興室の長
建設部	建設企画課、都市計画課、土木課、維持管理課、建築住宅課及び建築指導課の長
下水道部	業務課、計画整備課及び施設課の長
淀江支所	地域振興課及び市民生活課の長
教育委員会事務局	教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化課、体育課及び学校給食課の長
水道局	計画課の長



## 市章

漢字の「米」の字を図案化したものです。

明治33年（1900年）から旧米子市で用いていたもので、新・米子市の誕生後に行った市民アンケートをもとに、平成17年（2005年）12月1日に「米子市の市章」として正式に決定しました。



## 市の花<ツツジ>

旧米子市で昭和42年（1967年）に、旧淀江町で昭和50年（1975年）に、それぞれ市の花・町の花として制定されていました。

新・米子市誕生後に行った市民アンケートをもとに、平成18年（2006年）1月1日に「米子市の花」として決めました。



## 市の鳥<コハクチョウ>

米子水鳥公園の開園を記念して、平成7年（1995年）に旧米子市の鳥に制定されていました。

新・米子市誕生後に行った市民アンケートをもとに、平成18年（2006年）1月1日に「米子市の鳥」として決めました。



## ロゴマーク

「山陰の交通の要衝」、「環日本海交流を推進・経済交流の拠点をめざす」を基本コンセプトに、「Y」の上に顔を描き、「交流」、「やさしさ」、「歴史」などのイメージが盛り込まれたロゴマークです。

色は、青が「日本海」、緑が「大地（中国山地）」を表現しています。



## イメージキャラクター

男の子の名前は、ネギ太、ツツジのリボンをつけた女の子の名前は、ネギ子、ペアの名前が「ヨネギーズ」です。

米子市の弓ヶ浜地区で栽培されている「ネギ」と、米子のアルファベットの頭文字「Y」をデザインしたものです。淀江の名物「どんぐり」のポシェットを身につけています。

なお、ロゴマークとイメージキャラクターは全国から応募のあった作品を、市民委員会で選考し、平成18年（2006年）2月28日に決定しました。